

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社構造計画研究所

コード番号 4748 URL <http://www.kke.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 正太

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 湯口 達夫

TEL 03-5342-1093

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	2,640	△12.6	△781	—	△812	—	△602	—
23年6月期第2四半期	3,021	△7.6	△665	—	△697	—	△428	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年6月期第2四半期	△104.25	—
23年6月期第2四半期	△73.81	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	10,930	—	3,107	—	28.4	—
23年6月期	10,787	—	3,783	—	35.1	—

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 3,107百万円 23年6月期 3,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年6月期	—	—	—	10.00	10.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,000	7.8	430	52.1	350	71.4	165	23.8	28.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	6,106,000 株	23年6月期	6,106,000 株
24年6月期2Q	330,136 株	23年6月期	330,101 株
24年6月期2Q	5,775,881 株	23年6月期2Q	5,811,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報.....	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報等.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
(7) 重要な後発事象.....	8
4. 補足情報.....	9
生産、受注及び販売の状況.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により混乱した供給サイドの制約が概ね解消され、復興需要が徐々に顕在化したものの、欧州債務危機を背景とする世界経済の減速や長期化する円高の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、企業の設備投資につきましては、供給体制の復旧から回復の兆しが見られるものの、海外経済の減速や円高による先行きの不透明感から慎重な姿勢に変わりはなく、当社を取り巻く経営環境も厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中において、当社は、創業理念の主旨を堅持しつつ、より発展した理念として「大学、研究機関と実業界をブリッジするプロフェッショナル エンジニアリング デザイン ファーム」を掲げ、当社の組織に蓄積された「組織知」に加え、大学・研究機関との共同研究の中で培った「学問知」、顧客との協業の中で培った「経験知」を融合し、生み出された「工学知」（エンジニアリング）を使って、今後の復興活動や「次世代の社会構築」（デザイン）の促進に貢献できるよう努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は26億40百万円（前年同四半期比3億81百万円減）、営業損失は7億81百万円（前年同四半期比1億16百万円損失増）、経常損失は8億12百万円（前年同四半期比1億14百万円損失増）となりました。また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券の一部（株式会社みずほフィナンシャルグループ第十一回第十一種優先株式）につき、減損処理による投資有価証券評価損63百万円を当第2四半期累計期間において特別損失として計上したことなどにより、四半期純損失は6億2百万円（前年同四半期比1億73百万円損失増）となりました。

なお、当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが増加することから、第2四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。当第2四半期累計期間の純損失は、かかる季節変動による影響が大きくなっております。

当第2四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、当社では社内に蓄積されている幾つもの要素技術と経験を顧客の課題に合わせて組み合わせ、創出された解決策をソリューションとして提供しております。以下の3セグメントがシナジーを発揮することにより、より付加価値の高いサービスや製品を創出することが、当社の事業特性となっております。

【エンジニアリングコンサルティング】

当第2四半期累計期間においては、通信関連の研究開発機関向けの研究試作業務などが減少いたしました。防犯・耐震関連の解析コンサルティング業務や建築物の免震・制振関連業務が堅調に推移したことにより、エンジニアリングコンサルティング事業における当第2四半期累計期間の売上高は9億22百万円（前年同四半期比11百万円増）、セグメント利益（売上総利益）は、1億67百万円（前年同四半期比79百万円増）となりました。

【システムソリューション】

当第2四半期累計期間においては、大手住宅メーカー及び交通事業者向けのシステム開発業務が堅調に推移いたしました。大手通信キャリア向けのシステム開発業務及び住宅設備事業者向けのシステム開発業務が減少したことにより、システムソリューション事業における当第2四半期累計期間の売上高は9億71百万円（前年同四半期比2億33百万円減）、セグメント利益（売上総利益）は、1億65百万円（前年同四半期比1億11百万円減）となりました。

【プロダクツサービス】

当第2四半期累計期間においては、リスク分析・意思決定支援ソフトの販売は比較的堅調に推移いたしました。製造系設計者向けCAEソフト及びネットワークシミュレーションソフトの販売が伸び悩んだことにより、プロダクツサービス事業における当第2四半期累計期間の売上高は7億46百万円（前年同四半期比1億59百万円減）、セグメント利益（売上総利益）は、2億26百万円（前年同四半期比1億85百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1.9%増加し、37億50百万円となりました。これは、主に仕掛品が4億10百万円増加する一方、現金及び預金が3億98百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.0%増加し、71億80百万円となりました。これは、主に繰延税金資産が1億円増加する一方、投資有価証券が84百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1.3%増加し、109億30百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて7.5%増加し、52億37百万円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が3億25百万円増加する一方、未払費用が1億96百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて21.2%増加し、25億85百万円となりました。これは、主に長期借入金が4億20百万円増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて11.7%増加し、78億23百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて17.9%減少し、31億7百万円となりました。これは、主に利益剰余金が6億59百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11億86百万円(前年同四半期比1億72百万円減少)となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、9億43百万円(前年同四半期比83百万円の支出減)となりました。主な要因は、資金の流入では売上債権の減少額4億65百万円、賞与引当金の増加額1億28百万円、資金の流出では税引前四半期純損失8億77百万円、たな卸資産の増加額4億10百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、1億33百万円(前年同四半期比23百万円の支出減)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億4百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は、6億79百万円(前年同四半期比3億63百万円収入増)となりました。主な要因は、長期借入金の純増額7億45百万円及び配当金の支払額58百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の業績予想につきましては、平成23年8月19日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する情報

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,584,564	1,186,146
受取手形及び売掛金	1,203,625	981,120
半製品	3,484	3,517
仕掛品	370,779	781,038
前渡金	86,697	79,862
前払費用	128,474	176,446
その他	376,924	612,587
貸倒引当金	△75,160	△70,595
流動資産合計	3,679,390	3,750,124
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,094,998	2,054,231
土地	3,569,490	3,569,490
その他（純額）	99,927	125,553
有形固定資産合計	5,764,416	5,749,274
無形固定資産		
ソフトウェア	290,713	359,020
その他	12,886	12,749
無形固定資産合計	303,599	371,770
投資その他の資産		
投資有価証券	285,626	201,182
その他	795,996	904,101
貸倒引当金	△41,901	△46,029
投資その他の資産合計	1,039,721	1,059,254
固定資産合計	7,107,737	7,180,299
資産合計	10,787,128	10,930,423
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,518	204,758
短期借入金	2,680,000	2,680,000
1年内返済予定の長期借入金	930,000	1,255,000
未払金	412,574	349,530
未払費用	322,633	125,826
前受金	155,900	249,269
賞与引当金	—	128,918
その他	103,523	244,424
流動負債合計	4,871,150	5,237,728

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	540,000	960,000
長期未払金	350,000	250,000
退職給付引当金	1,173,237	1,275,139
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	14,822	14,978
その他	14,893	45,371
固定負債合計	2,132,953	2,585,490
負債合計	7,004,104	7,823,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,113,312	1,113,312
利益剰余金	1,984,362	1,324,455
自己株式	△298,543	△298,568
株主資本合計	3,809,331	3,149,399
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,307	△42,195
評価・換算差額等合計	△26,307	△42,195
純資産合計	3,783,024	3,107,204
負債純資産合計	10,787,128	10,930,423

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,021,624	2,640,238
売上原価	2,245,741	2,080,942
売上総利益	775,883	559,295
販売費及び一般管理費	1,440,968	1,341,071
営業損失(△)	△665,084	△781,775
営業外収益		
受取利息	16	21
受取配当金	21	1,022
貸貸収入	1,546	1,158
未払配当金除斥益	2,074	1,795
法人税等還付加算金	2,604	—
その他	2,998	4,168
営業外収益合計	9,260	8,166
営業外費用		
支払利息	33,116	31,800
関係会社出資運用損	5,872	4,352
その他	2,782	2,485
営業外費用合計	41,771	38,637
経常損失(△)	△697,595	△812,247
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,520	—
国庫補助金	—	160
特別利益合計	7,520	160
特別損失		
投資有価証券評価損	—	63,237
固定資産除却損	326	1,998
関係会社清算損	1,306	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,559	—
特別損失合計	11,192	65,236
税引前四半期純損失(△)	△701,268	△877,323
法人税、住民税及び事業税	4,521	4,541
法人税等調整額	△276,883	△279,717
法人税等合計	△272,362	△275,175
四半期純損失(△)	△428,906	△602,147

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△701,268	△877,323
減価償却費	102,936	116,739
退職給付引当金の増減額(△は減少)	78,327	101,902
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△53,498	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	128,918
投資有価証券評価損益(△は益)	—	63,237
受取利息及び受取配当金	△37	△1,044
支払利息	33,116	31,800
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,559	—
売上債権の増減額(△は増加)	552,928	465,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△415,539	△410,291
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,022	△112,998
未払金の増減額(△は減少)	△68,053	△56,979
未払費用の増減額(△は減少)	△418,511	△195,169
その他	14,742	△54,567
小計	△984,318	△799,952
利息及び配当金の受取額	37	1,244
利息の支払額	△35,020	△34,529
損害賠償金の支払額	△100,000	△100,000
法人税等の支払額	△1,486	△10,147
法人税等の還付額	94,230	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,026,557	△943,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144,681	△20,769
無形固定資産の取得による支出	△29,024	△104,707
敷金の回収による収入	20,703	458
その他	△4,495	△8,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,497	△133,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,050,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	△555,000
自己株式の取得による支出	△43,513	△23
配当金の支払額	△86,450	△58,480
リース債務の返済による支出	△4,693	△7,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	315,342	679,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△398	△319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△869,111	△398,417
現金及び現金同等物の期首残高	2,228,024	1,584,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,358,912	1,186,146

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期損益計算書計上額(注)
	エンジニアリング コンサルティング	システム ソリューション	プロダクツ サービス	計	
売上高					
外部顧客への売上高	910,585	1,204,743	906,295	3,021,624	3,021,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	910,585	1,204,743	906,295	3,021,624	3,021,624
セグメント利益	87,924	276,657	411,300	775,883	775,883

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期損益計算書計上額(注)
	エンジニアリング コンサルティング	システム ソリューション	プロダクツ サービス	計	
売上高					
外部顧客への売上高	922,585	971,232	746,420	2,640,238	2,640,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	922,585	971,232	746,420	2,640,238	2,640,238
セグメント利益	167,621	165,499	226,174	559,295	559,295

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

平成24年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

① 自己株式の取得を行う理由 将来の機動的な資本政策の遂行を目的とする

② 取得に係る事項の内容

イ 取得する株式の種類 当社普通株式

ロ 取得する株式の総数 100,000株を上限とする(発行済総株式数に対する割合1.73%)

ハ 株式の取得価額の総額 100,000千円を上限とする

ニ 自己株式取得の日程 平成24年2月14日から平成24年6月30日まで

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	1,071,117	94.8
システムソリューション	912,803	83.7
プロダクツサービス	507,279	102.2
合計	2,491,200	91.7

- (注) 1 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	1,891,520	103.9	2,468,575	120.3
システムソリューション	1,368,786	81.4	1,633,224	95.9
プロダクツサービス	795,979	86.8	341,631	114.3
合計	4,056,287	91.8	4,443,430	109.6

- (注) 1 金額は販売価額によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	922,585	101.3
システムソリューション	971,232	80.6
プロダクツサービス	746,420	82.4
合計	2,640,238	87.4

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。